

2部のプログラム

1 新田安季子 「イザナキとイザナミ」

小学生の子どもたちに 日本の始まりの物語を聞いてもらいたいと思って作ったおはなしです。主な参考文献 『絵物語古事記』(富安陽子著 三浦佑之監修 偕成社)

2 清水三和子 「オロチの川」

荒川流域に多く祀られている氷川神社と出雲との関連を知り、「ヤマタノオロチ」と洪水をテーマに再話してみました。

主な参考文献 『口語訳 古事記[完全版]』(三浦佑之訳・注釈 文藝春秋)
『新編武蔵風土記稿』

3 渡辺弥生 「白鳥」

第11代天皇と伝えられる垂仁天皇と皇子ホムチワケの物語。そこに現代にも通じる親子や家族のあり方を感じ、再話してみました。

主な参考文献 『口語訳 古事記 人代篇』(三浦佑之訳・注釈 文春文庫)

4 齊藤文子 礪波由里子 「かみさまの食堂」

スサノオに斬り殺された「食物神オオゲツヒメ」の死体から、五穀の種が生まれたという神話を紙芝居の形で再話しました。

主な参考文献 『オオゲツヒメと倭国創生：日本の穀物起源神の原像』(林博章編・著 多田印刷)

5 末吉正子 「オオクニヌシの物語」

先月も小学校2校で高学年にこのお話を語ってきました。オオクニヌシは2002年から語り始め(当初は「オオナムズの冒険」という題名)何度も練り直し、今の形になりました。

でも再話は繰り返されても、少年の成長譚であるという物語のコアの部分は変わっておりません。愛と勇気と叡智の限りを尽くし困難を乗り越えていく少年の成長譚……「オオナムズ」と呼ばれていた若き男神が大なる国の主「オオクニヌシ」と名のようになるまでの物語をどうぞお楽しみください。

参考文献

『新潮日本古典集成 古事記』(西宮一民校注 新潮社)

『神話の森』(山本節著 大修館書店)・『古事記事典』(尾畑喜一郎 編 桜楓社)

『超訳 古事記』(鎌田東二著 ミシマ社)・『日本の神話伝説』(吉田敦彦+古川のり子 青土社)

『口語訳 古事記 [完全版]』(三浦佑之訳・注釈 文藝春秋)

『出雲神話論』(三浦佑之著 講談社 kindle 版)

『「海の民」の日本神話—古代ヤポネシア表通りをゆく—』(三浦佑之著 新潮選書 kindle 版)

テラブレーション!とは…

Telling (語り) と Celebration (祝典) をつなぎ合わせて TELLABRATION! これは提唱者の故 J.G. パウパウ・ピンカートン氏が名付けた造語で、アメリカ National Storytelling Network が世界中に呼びかけている「語りの心の交流の祭り」です。

日本では、1995年より「語り手たちの会」が、11月をテラブレーションの月として全国に語りの集いの開催を呼びかけて始まり、2年後の1997年より全日本語りの祭り実行委員会(現在の全日本語りネットワーク)がこれを引き継ぎ、毎年全国に開催を呼びかけています。